



九州大学・ASEAN 教育交流プログラム
ASEAN in Today's World (AsTW)

概要

本プログラムは、ASEAN+3の国際的な枠組みの中で展開することにより教育の国際化を推進する、他に例のない九州大学が主導する ASEAN 全体との教育プログラムです。近年世界政治経済への影響力を増している ASEAN 地域にフォーカスすることにより、世界で活躍する次世代のアジアンブリッジの核となる人材の育成を狙います。今年度はマヒドン大学（タイ）と共同で、ASEAN・日中韓・欧米から約 60 人の学生を集めて、平成 21 年 3 月に 3 週間のプログラムをマヒドン大学において開催する計画です。

背景

本学では平成 13 年より、アジアを中心として欧米を含む学生を対象とする、国際サマープログラム Asia in Today's World(ATW)を学内で実施（13-14 年は UMAP Leaders Program の名称で実施）しており、高い評価を得ております。過去 7 年間の受入総数は 258 人に及びます。

平成 19 年 9 月に翌年の就任を控えた ASEAN 事務総長 Dr. Surin Pitsuwan が本学を訪問した際にこの ATW に大いに興味を持たれ、ASEAN 域内での開催に強い希望を述べられました。ATW の国外、特にアジアでの開催は本学がかねてより可能性を検討してきましたが、今回 ASEAN 事務総長の支持を得て具体的計画策定に着手しました。

内容

20年度は、ASEAN側はマヒドン大学が共同実施校となります。ASEAN事務局の積極的関与が表明されており、具体的にはASEAN各国に所在する日本商工会議所のASEAN地域学生への留学資金援助等の協力体制がASEAN事務局の仲介で進行中です。またASEAN大学ネットワークからは、ネットワークを通じた学生募集と講師派遣に関する積極的協力の同意を得ています。日本人学生については本学及び本学と連携協定を締結している大学を中心に参加者を募集します。

なお、本プログラムは本部科学省平成20年度大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援（交流プログラム開発型））に採択されました。

＜開催場所＞ マヒドン大学インターナショナルカレッジ（タイ）

＜実施時期＞ 平成21年3月の3週間

＜対象・定員＞ ASEAN諸国，日本，中国，韓国，その他の国の大学生 約60人

＜カリキュラム＞ ①日本語とASEAN地域の言語・文化科目（日本語・文化，ビジネス日本語・マナー，タイ言語・文化，ベトナム言語・文化，インドネシア・マレー言語・文化）②ASEAN・アジア研究科目（ASEAN-東アジア事情，公衆衛生，危機管理，日本現代文化）、③タイ文化体験等の実習（スタディトリップ）

＜参加者選考＞ 国際事務局(九州大学)とASEAN側大学事務局(マヒドン大学)が共同で実施。

＜単位認定・修了証書＞ 1科目（30時間の講義）につき2単位を付与する。所定の単位を履修した者に修了証書を授与する。

■効果

今後のASEANの国際戦略の中で、ASEANと日中韓との連携は最重要視されており、ASEAN事務局側の本プログラムへの積極的関与は東アジア諸国にASEAN理解者を育成することの意義を認識しているからであり、このことが本プログラム成果の継続性に関して最も重要な点です。将来的なASEAN+3の活性化に向けた取り組みは人材育成にかかっていることから、国際化の流れの中でアジアへの理解を深めた人材の育成はASEANのみならず日本にとっても重要な問題であり、アジアンブリッジの核となり得る人材の早期育成が期待されます。本プログラムの目的は、日本、その他アジア及び欧米の若い世代に、アジアをキーワードとして国際的な共通性を習得させることにあり、現在の国際社会においてそのような能力を有する次世代のアジアを担う人材を育てる意義は大きいはずです。現在我が国の大学においてはASEAN全体との単一交流プログラムを有する大学はありませんが、本プログラムの有効性が認知されれば、アジアの時代が標榜されている21世紀社会で活躍する世界的視野を有するアジア人材の育成という面で、教育の国際化モデルを提供することができます。

■今後の展開

次年度以降もマヒドン大学をASEAN側大学の事務局とする協力体制を維持しながら、プログラム開催地については、ASEAN地域の他の大学の協力をも視野に入れて実施計画を策定します。このことによりASEAN地域大学ネットワーク（AUN）の有力メンバーであるマヒドン大学を中心とする、ASEAN有力大学との連携を強化し、グループとしてのASEAN有力大学との連携を図る体制を整備します。

また、今年度プログラムで中国、韓国の大学の教員による特別講義を実施することにより、将来の両国からの教員参加システムの構築を図り、高等教育の国際化をASEAN+3とで共同展開する計画です

【お問い合わせ】

国際交流推進室准助教 高原 芳枝

電話：092-642-2143

FAX：092-642-4273

Mail：yoshie@isc.kyushu-u.ac.jp